

## 第4回 恵み野商店街活性化振興計画策定検討委員会【実施概要】

|  |   |
|--|---|
| 日 時  | 平成24年2月7日（火） 19:00～21:00  |
| 場 所  | 恵庭リサーチ・ビジネスパーク 3階 大研修室  |
| 出席者  | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆恵み野商店街活性化振興計画策定検討委員（15名）</li> <li>◆事務局（6名）</li> <li>◆市関係部署（7名）</li> </ul> |
| <b>委員会次第</b>   |   |
| <p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議事（別紙「議事要旨」参照）</p> <p>（1）報告事項①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回検討委員会の報告について（資料1）</li> <li>■資料1に基づき、事務局より説明</li> <li>・商店前の駐停車に関する課題について（資料2）</li> <li>■資料2に基づき、土木課より説明</li> </ul> <p>（2）意見交換①「商店前の駐停車のあり方について」</p> <p>（3）報告事項②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵み野商店会会議結果の報告について</li> <li>■委員Fより説明</li> </ul> <p>（4）意見交換②「恵み野商店街の課題と活性化の具体策について」<br/>（ワークショップ形式）</p> <p>4. その他</p> <p>（1）今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シンポジウムの開催について（資料5）</li> <li>■2月25日（土）に開催</li> <li>・次回委員会の開催日程について</li> <li>■次回の委員会は3月13日（火）を予定</li> </ul> |   |
| 以上   |   |

《事務局》

第3回検討委員会の報告

《土木課》

駐停車について資料2に基づき説明

意見交換①「商店前の駐停車のあり方について」

《会長》

この件について、本日は全体で意見交換をさせて頂ければと思います。皆さんの積極的な意見等をよろしくお願いします。

《委員P》

これまで3回議論してきたが、前提として商店街の方々の長年の要望ということ、アンケート結果を見ても駐停車ができる場所がほしいということは圧倒的多数の市民ニーズであること、消費者の意見としても店に寄るのにほんの少しでも停車できるスペースが欲しいという意見が様々に出され、今回土木課から二案を出して頂いた。

今後の課題として、どちらも地域住民との合意形成が必要だが、検討委員会で方向性を出す前に住民の皆さんと協議するのかということが出てくるかと思う。駐停車に関しては植樹柵や緑地帯が一部無くなるということもあり、花のまちづくり形成の面から考えてどうかというのも大きな課題の一つ。今後の地域住民との合意形成についてどう進めていくのか、教えて頂きたい。

《事務局》

検討委員会の中でお店の前に駐停車スペースがいるということを認めて頂けるのであれば、その後町内会など地域の方と商業者、行政で細かいところは詰めていくことになろうかと思っています。

《委員D》

「認める」というご発言がありましたが、この検討委員会はそのことを「決定」する場なのか。駐車帯の必要性について、作る方向で検討すべきということまでなのか、二案のうち一案にするということまでなのか、住民との合意形成の方法についてまで検討するのかがよくわからない。検討のポイントをはっきりさせてほしい。

《事務局》

本件に関しては今後商店会、町内会とさらに細かい打合せが必要と考えています。この会議の中では一応の結論として、駐車場というものを認める方向で提案する提議の場と捉えて頂けたらと思います。

《委員D》

簡単に言えば、検討委員会で検討した結果、この恵み野商店街については駐車できるスペースを形成することが将来の商店街の発展にとって望ましいという結論を出しましたということで留まっていいわけですね。その時に前提条件をつけて、それが満たされないならば望ましいとは言っても実現できないという意見も出てきたということを出し合うということですね。

《事務局》

そのとおりです。検討委員会としてその方向で考えるとして、前提条件等について何かご意見があれば出して頂きたいと思います。

《委員I》

これまで三回の委員会で、商店街の活性化、そして地域の活性化についていろいろな課題が出されており、これについて現実的に動く体制作りをしていかなければならない。そうした中で、まず商店会の皆さんが十分にそういう認識をお持ちかどうか。さらに、商店会の50数件の加盟店だけでこれだけの地域の活性化に向けた活動は難しいので、商店会でやれる範囲のもの、町内会を入れて協働でやるものをきっちり仕分けしていき、その上で市の協力も頂かなくてはならない。

私はこの30数年経った現状を見て、相当環境が崩れてきていると感じている。除排雪や交差点など、環境整備をまず先にやるべきで、その中に立って花壇や街路灯、そこで駐停車の問題も出てくる。町内会、商店会が一緒になり、ルール・環境作りをやった上で、駐停車場が必要だということが出てくるのではないか。商店の方も町内会とのコミュニケーションをしっかり作って、さらに市の協力も頂いた対応が必要だと思います。

《事務局》

全体の中で駐車場の問題を考えるべきというご意見だったと思います。ただ、本日の会議の進め方として商業者の方やアンケートでも駐車場の問題が多く提起されているということで、まずこの問題を処理し、その後商店街の課題と活性化の具体策にという項目で今の貴重なご意見を反映したいと思います。

駐車場の問題に関しては何か前提条件のようなものを出して頂き、この問題については一区切りをつけさせて頂きたい。

《委員P》

この場で決定するのかどうか、これはこの委員会の要綱第一条に活性化策の計画を作る時の「方向性」を協議しようということをやっているの、先ほど確認されたことと思います。前提条件というのは、今までもこれからも様々な課題について話していく中で、出された意見をどう位置づけるか、それについても私たちは方向性を出して計画策定の一助となるわけで、当然責任がある。ある程度案が出た段階で、私たちは様々な意見を付して今後の方向性を見出していくものではないかと思えます。これは非常に大事なことで、委員皆が確認しておかないといけない。

《会長》

まだご意見等はございますか。それでは、この件については先ほど事務局から総括して意見を述べて頂きましたので、そちらの方向性をもってやって頂きたいと考えております。

次は「恵み野商店街の課題と活性化の具体策」ということですが、前回検討委員会で商業者の方に一度全体でお話してほしいということで発言させて頂きました。

今月の二日に全体の会議が開催されたと伺っておりますので、委員Fさんから内容についてご報告頂きたいと思えます。

《委員F》

(商店街の全体会議については資料にもとづき説明)

これとは別に、商店会としての活性化の考え方について役員の皆でまとめたものがあるのでこの場で発表させて頂きたい。

恵み野商店会では恵み野夏祭り、冬祭り、歳末セール、キャンドルナイトなどに加え、全市的な取り組みとしてファイターズセールや、花を愛するお母さん方の関わるイベントとしての花さんぽストリート祭ややすらぎストリート祭を行っている。ただそれが集客につながっていないという商店側の悩みがあり、また後継者不足や事業主の高齢化、空き店舗問題がこれから出てくるし、今も少しずつ出てきています。

他の地方都市と比べ空き店舗は少なく、今年度も空き店舗に三件の開業がありました。現時点では店舗の入れ替わりはできているが、今後店主の高齢化が深刻になり空き店舗が多く発生することが考えられます。そうしたことから、地域との交流、きれいで買い物をしやすい街路という要素は今後より必要だと考えます。商店街にとっても地域住民との交流がさかんなことは安定した経営に欠かせないし、住民にとっても安心して買い物できるメリットとなります。景観がきれいで、歩きやすく買い物しやすい街路は住民にとって誇りと愛着を感じてもらえる重要な要素だと思いますし、市外の人にとっても住みたい、出店したい理由の一つになると考えています。

現状、街路は各店舗が植樹柵や植樹帯に花を植え、維持管理を行っており、ベンチを置くなど景観に努力しています。歩きやすく買い物しやすい街路という点ではインターロッ

キングや歩道の凸凹、街路灯の整備、車のお客様の利便性といった点でちょっと問題があると考えています。

ソフト事業に関しては各種イベントから店舗へお客様を流せる仕組みと地域の交流、ハード面ではきれいで利便性の高い街路の整備といった要素が揃って、恵み野のまち全体のイメージが上がり商店街の活性化の一つの解決策、長続きする商店街になればいいと考えています。また駐車帯のことに戻ると、現在の街路は個店の努力で花を植えてきれいにしています。お店の人はそれだけ花のまちを愛していると思います。駐車帯のことばかりでその街路を諦めているということは絶対にありません。どこか共有できる場所はあると思いますし、また空き店舗が増えればその大きな花壇に花を植える人がいなくなっているところもあります。そうならないためにも店が入れ替わるシステム、商売のしやすい環境というのは花のためにも必要だというのが商店会の考え方です。

《事務局》

～かわら版に対して寄せられたFAXの報告

《会長》

どうもありがとうございました。委員Fさんと事務局から報告を頂いた件につきましてご質問等ございましたら、よろしくお願ひします。

《委員Q》

委員Fさんの話から結構悩んでいることが感じられた。12名、8名という商店関係の出席とのことだが、切実感が全く感じられない。商店街で自分たちのことをどうしようと考えているのは人数で言えば1～2割ということで、そのレベルでしか集まることのできないというのは、本当に商店街の方々は自分たちのお店を活性化する気持ちをどこで発揮されているのかという印象を持った。言い方は悪いが、「やる気があるのか」ということ。

私も一般市民が店主に対して要望を出すことは可能だが、お店のいろんな事情があり要望通りに進むことはないとわかっている。まず商店街が市民に対して我が商店街はこうするというビジョンをきちんと示せるような会合をやって頂きたい。イベントについても挙げて頂いたが、どれも一日のことであり印象には強くは残らない。市民にきちんと浸透するようなイベントの持ち方をしていくべき。

《会長》

ありがとうございました。その他ご意見・ご質問等ございませんか。

それでは、これより意見交換②「恵み野商店街の課題と活性化の具体策について」に入りたいと思います。意見交換に入る前に、前回の委員会で意見交換して頂いた結果についてまとめておりますので事務局の方からご説明よろしくお願ひ致します。

《事務局》

～資料4の全体のまとめにもとづき説明

《会長》

ありがとうございました。このテーマについては前回も討議して頂きましたが、本日は今説明して頂いた内容をたたき台として、より具体的な取り組みについて討議して頂きたいと思います。

《事務局》

重点的にお話しして頂きたい項目として、第1に商店街として何が一番課題となっておりその解決策はあるのか、第2に課題解決にあたり具体的に誰が主体でいつからやるのか、第3に5年後、10年後を考えた時にその具体策で本当に適切か、第4にその具体策が本当に消費者ニーズに合っているのか、以上4つのポイントに関し重点的に意見交換をお願いしたいと思います。

《事務局》

その前に、先ほどご意見あった部分について私から補足したいと思います。前回の検討委員会においても同様の指摘があり、それに基づき2月2日に恵み野商店街の全体会議が行われたわけですが、ご意見のあった通り、これでビジョンがはっきりしたとはおそらく皆さん思ってもらえないと思います。商店街のビジョンについては一回で作り上げられるようなものではございませんので、引き続き検討して頂くしかないと考えています。我々もできる部分は支援しながらやっていきたいと考えています。もう一つ人数のことについてもご指摘がありましたが、集まった方々の中には非常に前向きな発言をされている方も出てきております。我々としてはそういった方が徐々に増えていき、そうした固まりが将来この商店街を動かすように持って行くしかないと考えていますので、この検討に商店者の方がなるべく多く入ってこられるように努力していきたいと考えています。やる気のある店主が報われるような方向性を持ちながら皆さんでご検討頂けたらと思います。事務局としても、商店街と一緒に、商店街の方の参加をうながしていきたいと考えていますので、どうかご検討の方よろしくお願ひします。

《委員Q》

積極的な方が徐々に出てくるのを待つと言いますが、何年待つ気なのか、そういう印象を持ちました。私どもの任期が決まっている中、きちんとした話が出てこない限り、今回の委員会は何だったのかということで終わってしまう。一回目の会合の時、会長がもう待ったなしの状況だのご挨拶の中で述べられた。ですからこうして発言したわけであり、8名や12名でやる気のあるとは感じられない。商店会としても猛省してもらいたい。

《事務局》

やる気のある人が一定の数になるまで待つというのではなく、時間的な期限もあるので、ある一定のところまで我々としてはできるだけ頑張りたいということでもあります。皆さんにおかれましても、そういうやる気ある商店街の方もいらっしゃるのので、そういう人たちの支援になるようなご検討をして頂けたらと思っています。

《委員 F》

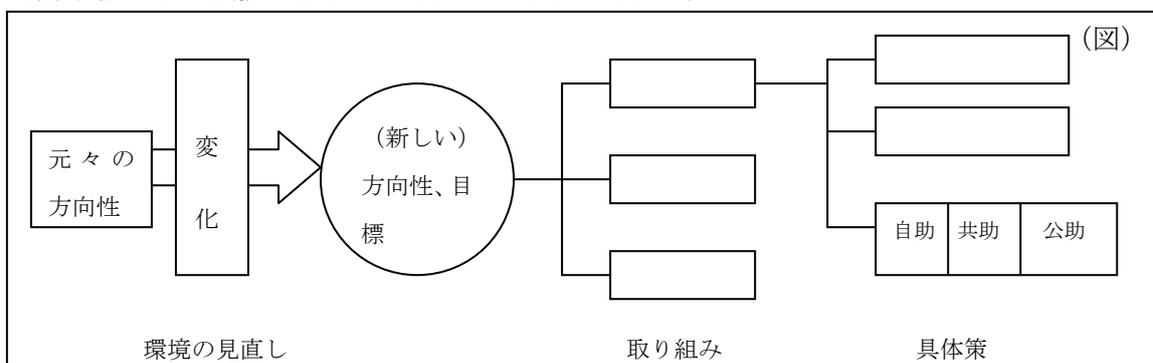
人数はちょっと少なかったですが、出てこなかった人がやる気がないという考え方ではないです。どうしても出られない方もいます。ただ役員の方で会議の回数が少なかったかもしれないし、そこはちょっと私たちの方で反省するところがあるのかもしれませんが、人数だけで私たちの商店街がこの人数しかやる気のある人がいないというのは違います。飲食店など中々家から出られない人もいます。そういうところはこちらから話を聞いてその人たちの意見を吸い上げなければいけないし、ただ参加人数だけ見てやる気がないとは思わないで欲しい。

それぞれの事業には、それぞれ別な参加者が多く出てきており、お互いに交流はあって意見を言う間柄にはなっているが、こうして時間を設定した会議には商売の関係上なかなか集まれないというのはあります。こうした大きなことを話し合う会議で2回というのは少なかったかもしれないし、もう少し日にちや曜日を考えてやればよかったと思って今はちょっと反省しています。

《委員 D》

委員 Fさんから商業者の立場でご苦労されている話が出てきました。ご指摘の話もよくわかるし、どちらもまさによくわかる。一生懸命商業者の方々が議論されていて、確かに人数のことはやり方の問題もありますし一概には言えないと思いますが、今日出てきたメモを拝見すると、もう少しアピール力がほしいという気がした。商業者としての意志というものがきちんと前に出てきていれば、皆さんの決意というのが見えたのだろうと思います。

そもそも大それたことを私はお願いしているわけではありません。図解を書かせて頂いて商業者の方をお願いしたいのですがよろしいですか。



議論をいろいろされて、結果をメモして下さったのは大変良いのですが、私が知りたかったのはこういうことです。簡単に言えば、恵み野ができた時の元々の商店街の方向性というのはあったはずですが、それでずっと進んできたのが、商店街を巡って情勢というのはどんどん変化します。そうするとこの変化に対応し、元々の方向性を変えなければなりません。これが新しいビジョン、目標です。これを定めたら、それに対してどんな手を打つか考えればいい。例えば恵み野の場合、みんなで議論した時に高齢者のまちになったというものが出た、これは変化。片一方で子どもがいなくなったという話がある。そうするとこの変化（高齢化と少子化）を踏まえて、どんな商店街に変えなきゃいけないかということを含んで話し合っただけでは結構。そうすると、例えば「高齢者にやさしい商店街」「少子化に手伝いができる商店街」などが出てくる。そこで、「高齢者にやさしい」とはどんなことをやればいいのかという枝をまた作ればいいんです。高齢者は歩いてくるのは大変だから車で来る、車で来ても停めるところがない、そしたら何か必要だということで初めて駐車帯の話が出てきたっていいんです。申し訳ないが、この検討委員会はなぜあれほど駐車帯ばかり切り離して議論するのかよくわからない。それは枝葉の部分に過ぎない。

これをやるためにこれが必要だからやりましょうというだけの話であって、そこにいろんな施策、対策をぶら下げる時に、自分たち商店街でやること（自助）、まちの人と一緒にやること（共助）、役所等に手伝ってもらうこと（公助）と分ければ、それぞれにやるべき対策がおさまっていく。ところがこの会の議論が駐車帯を切り離して議論しているので、商業者の方々は何か困っちゃって、今日出てきたメモを見ると、やっぱり店舗前の駐停車から始まってしまっていて、方向性のところが見えない。

こういうぶら下げを作ってもらって、中身の細かいところはここでやりましょうということです。まちの人に手伝ってもらうこと、役所の人にも乗り出してもらうことまで書き入れるわけですから、皆で議論してコンセンサス作らないとできない、これを皆で考えましょうという話なのです。本来この検討委員会もこうやっていけばいいものを、今日だってみんなの課題を検討すると言っても、目標が定まっていない。

委員Fさんには簡単にこうした整理の仕方をしてもらい、みんなでもう一度議論してまとめ直したらおそらく商店街からの意志は出てくると思います。

《会長》

ありがとうございました。

～会議中断～

今から進め方について、委員Pさんからご意見を言って頂きますので、お願いします。

《委員P》

今、詳しい説明があり、何か振り出しに戻ったような感じがしますが、これは一回目の会議の時に私が発言した内容と一致している。そこで、今日出されたA4のペーパーに課題という部分があります。商業者の方に時代の変化とともにこれからどうあるべきか目標を立ててほしいということで、その目標が出るまでこの委員会が出来ないというのはおかしい。ここにまとめられている課題はこれまで三回の意見交換の中で出してきたもので、前回商店会として話し合い方向性を出して欲しいという意見が出され、商業者の方が大変忙しい中集まりいろいろ意見を出してくれている。それらを綿密につき合わせればよい。

私たちは委員として役割を持っている以上、ここで帰るのではなく、商店会の人私たち委員、市民もこの課題を共通の課題として、今後どういう方策があるのかというところを話し合ってはどうか。「こういう方法があるとまちは元気づく」「こういう方法ならどうか」、例えば商店街の人がホームページを作ってはどうか、PRの方法として良いというような、前向きな意見を出し合って、その間次の検討委員会までの間に出された課題について商店会の人でも大変忙しい中でしょうけれども、また色々ご議論なさって、こういう方向でいけたらということを出して頂ければと思います。

《会長》

素晴らしいご意見ありがとうございます。それでは、今委員Pさんから発言のあった内容について意見交換をお願いします。

意見交換②「恵み野商店街の課題と活性化の具体策について」

～ワークショップ及び発表

～別紙「ワークショップシート」のとおり

《会長》

それでは、ただいまの各グループの報告につきましては、事務局で次回までに記録をまとめて頂ければと思います。今後のスケジュールについて事務局から説明願います。

《事務局》

～資料5に基づきシンポジウムの開催について説明

また、次回の委員会は3月13日、火曜日に同じ時間、会場を予定しております。また正式なご案内、資料につきましては後日送付させて頂きたいと思います。

《会長》

その他委員のみなさんから意見等ございませんか。

《委員P》

第5回はどんな中身でなされるんですか。

《事務局》

第5回につきましては中間まとめということで計画の骨子案までと思っはいるのですが、今日までお話をさせて頂いた内容をまとめさせて頂きたいと思います。